

平成 29 年度特定外来生物（キョン）防除対策検討委員会 [第 1 回]  
議事概要

1. 開催日時

平成 29 年 6 月 23 日（金） 14:00～15:00

2. 開催場所

大島支庁 第 2 会議室（2 階）

3. 出席者

■検討委員

石井 信夫	東京女子大学現代教養学部 教授
小池 伸介	東京農工大学大学院 准教授
羽澄 俊裕	環境省鳥獣保護管理プランナー
深澤 圭太	国立研究開発法人 国立環境研究所 主任研究員（欠席）
松林 尚志	東京農業大学農学部 教授
野村 昌宏	大島町観光産業課 課長
遠藤 佳成	東京都総務局 大島支庁産業課 課長
小野 満基	東京都総務局 大島支庁土木課 課長
高木 章雄	東京都環境局 自然環境部 森林再生担当課長

4. 議事内容

1) 平成 28 年度キョン防除対策事業報告

①平成 28 年度事業結果概要

- 捕獲頭数の性比の経年変化の図でオス+不明となっているが、不明について具体的な頭数を明らかにするように。
- 少なくとも半分以上はメスがいる可能性があるので、メスを効率的に捕獲することが課題である。

2) 平成 29 年度キョン防除対策事業実施計画（案）

①平成 29 年度事業実施計画（案）

- この事業計画案はこの検討会で合意を得る。修正がある場合は修正をした上で石井委員が見て最終決定となる。
- 修正点については基本的には石井委員が確認するが、必要に応じて皆さんに見ていただいて確定する。基本的には今回の説明した中身で今年度の事業計画とする。

②生息状況と被害状況

- 被害状況に植生への影響についても盛り込むように。防除の目的は被害対策だけ

ではなく自然への影響を防ぐことでもある。はっきりわかるように2、3行で良いので加える。

### ③柵の設置

- 囲い込み柵については基本的には計画の図の辺りに柵を設置するが、捕獲全体の効率を上げるというところで現場の状況や柵の使い方等を検討して、場合によっては細部の修正はありうる。
- わな捕獲について箱わなの周りを覆って中を暗くするという改良を加えたら捕獲効率が上がるかもしれないのでご検討いただきたい。

### ④防除事業の実施

- 防除事業 A では開放地における効率のよい捕獲手法を試しながら、従来の銃器や張り網、わなを活用し工夫して試験的に行っていく。
- 防除事業 A が始まるまでは、従来事業による全島での捕獲についても行う（事故なく、どちらの事業で行った捕獲かを整理できるように）。
- そういうことほど防除事業実施者会議で十分詰めるとよい。

### ⑤検討会等の開催

- 防除事業実施者会議の開催について、実際限られた予算で効率よくできるだけ速やかに捕獲を進めていくためにも、捕獲実施者実行者間で戦略を共有し、モチベーションが持続するように密な情報交換が重要である。